

本会議における 議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ23名の議員が質疑を行いました。市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするためにを行います。こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。採決の際、討論を行った議案は、「討論あり」と表示し、9ページに掲載しています。

議案第53号

【討論あり】

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定

【自由民主党】(無所属)【日本共産党】(政晴会)

問実質収支が前年度比約35・7億円増の要因は。

【答】なり、令和2年度末より約18億円減となった。

問新型コロナウイルス感染症の影響で、市税が大きく減収すると見込んでいたものの、景気持ち直しの動きを背景に、例年並みの収収を確保できたためと捉えている。

【答】新型コロナウイルスによる事業縮小等の影響はあるが、子育て安心施設の開設、川越駅東口駅前広場の改修完了等ハード系を中心に比較的順調に進捗が図れたものと考えている。

問市債残高が前年度末より約18億円減の要因は。

【答】市債償還の元金償還金約106億円を超えないよう当初予算で借入予定額を約84億円としたが、臨時財政対策債の増額等により借入額が約88億円と

より借入額が約88億円と

市民税が減少した原因は、個人市民税は、令和2年中の所得に対して課税となるため、新型コロナ

ウイルス感染症の影響によるものと考えている。

問市民等の協力で無事開催できたオリンピックの実績額を含めた総括は。

【答】大会関連経費の総額は、道路整備や旧西清掃センターの解体工事等を含め、約31億2500万円である。コロナ禍により当初計画から大幅な軌道修正を余儀なくされたが、川越で開催されて良かったと感じられる大会になったと考えている。

問児童数減少でも、年々ニーズが増える学童保育の見直しの方向性を伺う。

【答】単に利用者数を抑制することを目的とせず、他の状況等も参考に、持続可能な事業となるよう多角的に検討していく。

問実質収支黒字額が35億円となったが、市政の健全性について伺う。

【答】改善の兆しは見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な結果であり、いまだ厳しい財政構造であると認識している。

問税収33億円減の見通しの中、市民生活へ新たな負担を課さないよう予算編成したとのことだが、決算を踏まえてどう捉えているのか伺う。

【答】扶助費等の予算は十分確保し、決算も、経常的な扶助費は令和2年度を上回る支出となっており、市民生活に大きな影響はなかったと捉えている。

問障害者総合相談支援センターの効果性を伺う。

【答】就労と生活相談を併せた相談体制を提供することで、幅広い相談支援や相談者の課題への早期対応が可能となった。

問財務書類や固定資産台帳をより有効に活用するため、事業別や施設別のセグメント分析を行う考えは。

【答】財務書類の作成状況では、セグメント分析を行うまでには至っていないが、施設の更新・統廃合・長寿命化等の検討につなげるため、引き続き、

先行事例などを参考に、調査研究をしていきたい。

問市民意識調査では、デマンド交通事業を知らない人が半数以上、利用するつもりがない人が約24%いるが、結果をどう考えるか。

【答】市民意識調査の結果は、交通空白地域以外の人が含まれていることも示されているが、かわまるを知らない、利用方法が分からないなどの回答も多かったため、認知度や利便性向上のためのキャンペーン等の実施を検討する。

議案第54号

令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

【無所属】

問新型コロナウイルス感染症が事業に与えた影響を伺う。

【答】加入者が減少する中、医療費が上昇している。赤字解消・削減計画の今後の見直しについて伺う。

【答】受診控えの反動により医療費が増加し、特定健診の受診率にも影響が出ており、国保税の減免の他、新型コロナウイルス感染症に伴う傷病手当金の支給を継続している。

問効果を上げている国民健康保険税の収入率向上の取り組みについて伺う。

【答】コンビニやスマホアプリを利用した納付方法などの納税環境の整備、徴収体制の整備および滞納整理の強化を行っている。

